

増子記念病院 院内感染対策マニュアル

六甲アイランド病院 院内感染対策マニュアル

東京女子医科大学 血液浄化療法スタッフマニュアル（太田和夫・二瓶宏監修 医学書院刊）

医療法人真仁会 感染対策マニュアル

埼玉医科大学病院 診療基本マニュアル

埼玉医科大学病院 院内感染対策マニュアル

埼玉医科大学病院 血液浄化部マニュアル

越谷大袋クリニック 感染対策マニュアル

越谷大袋クリニック 透析室感染対策マニュアル

## 参考文献

### 第1章

- 1) 厚生労働省医薬安全局：医薬品安全性情報；透析型人工腎装置の適正管理について，平成11年6月。
- 2) 「医薬品の安全使用のための業務手順書」作成マニュアル 平成18年度厚生科学研究「医薬品等の安全管理体制の確立に関する研究」（平成19年3月 主任研究員；北沢武文）。
- 3) 第十五改正日本薬局方（平成18年3月31日 厚生労働省告知第285号）。
- 4) 日本臨床工学技士会透析用血液回路標準化委員会：透析用血液回路の標準化に関する報告書，2006。
- 5) 環境省：廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル，平成16年3月。

### 第2章

- 1) 小林寛伊，大久保憲，吉田俊介：病院感染対策のポイント，協和企画，p8，2003。
- 2) 小林寛伊，吉倉廣，荒川宜親編集：改訂2版エビデンスに基づいた感染制御第1集—基礎編，メヂカルフレンド社，p35，2007。
- 3) 小林寛伊，大久保憲，吉田製薬文献調査チーム：消毒薬テキスト新版エビデンスに基づいた感染対策の立場から，協和企画，29-30，47-62，142-168，2005。
- 4) 大久保憲編集：洗浄・消毒・滅菌のポイント209。Infection control，2004年増刊，メディカ出版。
- 5) ICHG（Infection Control Hospital Group）研究会編：滅菌・消毒・洗浄ハンドブック，メディカルチャー，91-94，2003。
- 6) 小林寛伊編集：改訂消毒と滅菌のガイドライン，ヘルス出版，28-31，74-78，124-134。
- 7) 神谷晃，尾家重治居：改訂2版 消毒剤の選び方と使用上の留意点，じほう，p5，2005。

### 第3章

- 1) 八本 輝：病院と照明，病院電気設備の設計指針シリーズ，病院電気設備の設計指針，日本病院電気設備協会，18-24，1982。
- 2) 大嶋庄次：病院の電気設備シリーズ 第3回病院の照明，病院設備，39

- (1), 77-86, 1997.
- 3) 日本病院設備協会規格：病院空調の設計・管理指針，HEAS-02-1998，日本病院設備協会。
- 4) 横山隆他：院内感染システム，2. 感染防止とゾーニング：院内感染マニュアル，臨牀透析，6月増刊号，1999.
- 5) 大久保憲，大原永子：これからのクリーンホスピタル．病院設備，44(4)，479-485，2002.
- 6) 芝本 隆：血液透析施設の最適設備条件について．日本透析医学会誌，34(5)，329-334，2001.
- 7) CDC: Recommendations for Preventing Transmission of Among Chronic Hemodialysis Patients. MMWR, 50 (RR 55), 2001.

#### 第4章

- 1) 厚生労働省：医療法. <http://www.houko.com/00/01/S23/205.HTM>
- 2) 厚生労働省医政局指導課：医療施設における院内感染の防止について. <http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/02/tp0202-1.html>
- 3) Siegel JD, Rhinehart E, Jackson M, Chiarello L, the HICPAC: Guideline for Isolation Precautions: Preventing Transmission of Infectious Agents in Health care Settings, 2007. <http://www.cdc.gov/ncidod/dhqp/pdf/guidelines/Isolation2007.pdf>
- 4) Boyce JM, Pittet D: Guideline for Hand Hygiene in Health-Care Settings. MMWR, 51 (RR 16), 1-44, 2002. <http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/rr5116a1.htm>
- 5) Bolyard EA, Tablan OC, Williams WW, et al.: Guideline for infection control in health care personnel, 1998. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee, Infect Control Hosp Epidemiol, 19, 407-463, 1998.
- 6) CDC: Recommendations for Preventing Transmission of Among Chronic Hemodialysis Patients. MMWR, 50 (RR 55), 2001.
- 7) Grabsch EA, Burrell LJ, Padiglione A, O’Keeffe JM: Risk of environmental and healthcare worker contamination with vancomycin-resistant enterococci during outpatient procedures and hemodialysis. Infect Control Hosp Epidemiol, 27, 287-93, 2006.
- 8) 満田年宏：透析医療環境における医療関連感染の予防．日本透析医学会誌，21(2)，257-269，2006.

- 9) 秋葉 隆, 他: 日本の慢性透析療法を行っている施設での院内感染防止の現況—院内感染防止に関するアンケート調査より. 透析会誌, 28(5), 847-856, 1995.
- 10) Tokars JI, Finelli L, Alter MJ, Arduino MJ: National Surveillance of Dialysis-Associated Diseases in the United States, 2001. *Seminars in Dialysis*, 17(4), 310-319, 2004.
- 11) Jimenez DA, Sanchez-Peya J: Standard precaution in hemodialysis? The gap between theory and practice. *Nephrol Dial Transplant*, 14, 823-825, 1999.
- 12) Siegel JD, Rhinehart E, Jackson M, Chiarello L, the HICPAC: Management of multidrug-resistant organisms in health care settings, 2006. <http://www.cdc.gov/ncidod/dhqp/pdf/ar/mdroGuideline2006.pdf>
- 13) 森兼啓太: 医療施設における多剤耐性菌の管理に関する CDC のガイドライン感染制御, 3(1), 3-7, 2007.
- 14) 安藤 稔: 透析患者はなぜ感染に弱いのか. 秋葉隆編 透析医療における感染症予防治療マニュアル, 日本メディカルセンター, 東京, 23-27, 2005.
- 15) 大園英一, 栗原 怜, 新谷英滋, 高橋秀実: CDC ガイドラインに基づいた透析室内感染予防対策. *日本透析医会雑誌*, 16, 327-334, 2001.
- 16) 佐藤千史: 透析患者のウイルス性肝炎—その対策と意義. 秋葉 隆, 丸茂文昭編, 透析療法 new wave, 200-208, 1999.
- 17) 秋葉 隆, 川口良人, 黒田満彦, 他: 日本の透析施設における HCV 感染に関する実態調査. *透析会誌*, 27(2), 77-82, 1994.
- 18) 厚生労働省保健医療局結核感染症課: ウイルス肝炎感染対策ガイドライン—医療機関内—改訂 III 版, 1995.  
<http://icnet.umin.ac.jp/other/hepatit.htm>
- 19) 厚生労働省: B 型肝炎について平成 18 年 3 月改訂第 2 版, <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/pdf/01.pdf>
- 20) 厚生労働省: C 型肝炎について, 平成 18 年 3 月改訂第 6 版.  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/pdf/02.pdf>
- 21) Agolini G, Russo A, Clementi M: Effect of phenolic and chlorinedisinfectants on hepatitis C virus binding and infectivity. *Am J Infect Control*, 27, 236-239, 1999.

- 22) Tanaka S, et al.: A common-source outbreak of fulminant hepatitis B in hemodialysis patients induced by precore mutant. *Kidney Int*, 48, 4972-4978, 1995.
- 23) CDC: Outbreaks of hepatitis B virus infection among hemodialysis patients—California, Nebraska, and Texas. *MMWR*, 45(14), 285-289, 1996.  
<http://www.cdc.gov/wonder/prevgid/m0040762/entire.htm>
- 24) Savey A, Simon F, Izopet J, Lepoutre A, Fabry J: a large Nosocomial outbreak of hepatitis C virus infections at a hemodialysis center. *Infect Control Hosp Epidemiol*, 26, 752-760, 2005.
- 25) Gerberding JL: Management of occupational exposures to blood-borne viruses. *New Engl J Med*, 322, 444-451, 1995.
- 26) Public health service guidelines for the management of healthcare worker exposures to HIV and recommendations for postexposure prophylaxis. *MMWR*, 47, 1-33, 1998.
- 27) サーベイランスのための HIV 感染症/AIDS 診断基準.  
[http://www.acc.go.jp/mlhw/mhw\\_kijyun/kijyun.htm](http://www.acc.go.jp/mlhw/mhw_kijyun/kijyun.htm)
- 28) CDC: Workbook for Designing, Implementing, and Evaluating a Sharps Injury Prevention Program.  
<http://www.cdc.gov/sharpssafety/index.html>
- 29) 大藪英一, 葉山修陽: 院内感染と MRSA, VRE. *腎と透析*, 55, 58-63, 2003.
- 30) 大藪英一, 栗原 怜: 難治性 MRSA 感染症, *臨床透析*, 22(2), 159-166, 2006.
- 31) 原田孝司: MRSA 感染症の個別予防策. 秋葉 隆編, *透析医療における感染症予防治療マニュアル*, 日本メディカルセンター, 東京, 120-125, 2005.
- 32) 日本結核病学会予防委員会: 結核の院内感染対策について. *Kekkaku*, 73(2), 95-100, 1998.
- 33) 厚労省: 新型インフルエンザ対策関連情報.  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>
- 34) 前田貞亮, 福内史子, 星野仁彦, 他: 慢性維持透析患者に対するインフルエンザワクチン接種の効果—1 回接種法と本季流行の型について. *臨床透析*, 15, 643-648, 1999.
- 35) CDC: Protection against viral hepatitis recommendations of the

immunization practice advisory committee (ACIP). MMWR, 34, 313-45, 1988.

- 36) 厚生省保健医療局結核感染症課：感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について。  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/index.html>

## 第5章

- 1) 労働安全衛生規則，昭和47年6月8日法律57号，最終改正平成18年6月2日。  
<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S47/S47HO057.html>
- 2) 労働安全衛生規則，平成19年12月28日厚生労働省令55号。  
<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S47/S47F04101000032.html>
- 3) 厚生労働省，ウイルス肝炎研究財団・日本医師会感染症危機管理対策室協力：B型肝炎について。  
[http://www.vhfi.or.jp/06.qanda/about\\_btype.html](http://www.vhfi.or.jp/06.qanda/about_btype.html)
- 4) 厚生労働省，ウイルス肝炎研究財団・日本医師会感染症危機管理対策室協力：C型肝炎について。  
[http://www.vhfi.or.jp/06.qanda/about\\_ctype.html](http://www.vhfi.or.jp/06.qanda/about_ctype.html)
- 5) CDC Recommendations and Reports, Recommendations for Preventing Transmission of Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis B Virus to Patients During Exposure-Prone Invasive Procedures. MMWR, 40 (RR 08), 1-9, 1991.
- 6) 矢野邦夫，浦野美恵子：院内感染対策ガイド～米国疾病管理センター（CDC）による科学的対策～（第1版第3刷），日本医学社，2000.
- 7) Jaeckel E, Cornberg M, Wedemeyer H, et al.: Treatment of acute hepatitis C with interferon alfa-2b. N Engl J Med, 345, 1452-1457, 2001.
- 8) 厚生労働省：HIV医療機関内感染予防指針，平成元年4月。  
[http://api-net.jfap.or.jp/mhw/document/doc\\_03\\_02.htm](http://api-net.jfap.or.jp/mhw/document/doc_03_02.htm)
- 9) 厚生労働省：針刺し後のHIV感染防止体制の整備について，日健医疾発第90号，医薬案第105号，平成11年8月30日。  
[http://www.acc.go.jp/mlhw/mhw\\_yobo/doc\\_01\\_11.htm](http://www.acc.go.jp/mlhw/mhw_yobo/doc_01_11.htm)
- 10) JACLaP WIRE No. 90, [http://www/jaclap.org/wire/WIRE\\_No.90.pdf](http://www/jaclap.org/wire/WIRE_No.90.pdf)

## 改訂版における主な変更点

第1版の記述	改訂版での記述
感染予防上の透析室の設備と環境対策については、特に記述がなかった。	「第3章 感染予防の透析室設備と環境対策」を追加した。これにともない、章番号が変更された。
患者指導において、血液で汚染された物品は、休憩室に設置した感染症廃棄物入れに廃棄するように指導すると記載した。	「血液で汚染された物品は机上などに放置せず、直接透析室内の感染症廃棄物入れに廃棄するよう指導する。」なお、感染症廃棄物入れは休憩室・待合室などスタッフの眼の届かない場所には設置しない。
通常の透析開始終了操作において透析滅菌手袋の使用を薦めた。	通常の透析操作では（非滅菌の）ディスポ手袋を使用するように記述した。
感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律による、感染患者を診療したときの医師から都道府県知事への届出の為の義務について記述した。	2002年11月の改正に基づいて変更した。また記載用紙も改正版に入れ替えた。
感染症廃棄物の処理については、平成4年8月13日付衛環第234号厚生省水道環境部長通知「感染症廃棄物の適正処理について」の別添報告書別紙2「廃棄物処理法に基づく感染症廃棄物処理マニュアル」に基づいて記載した。	廃棄物の処理および清掃に関する法律および産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律の一部を改正する法律（平成12年法律第105号）及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律（平成15年法律第93号）に対応した平成16年3月16日の「改定マニュアル」に対応した変更が必要なことを脚注に追加した。